

問

## 涌谷スタジアムに 指定管理者制度導入を



答

### 制度の活用は有効と考えている

後藤洋一 議員



**問** 涌谷スタジアムの管理については業務委託をしているが、スタジアムの今後の活発な利用と経費節減に向け、効率的・効果的・安定的にサービスの提供を図るために指定管理者制度を導入すべきと思うが、町の考えは。

**町長**

現在の涌谷スタジアムの管理については、利用者の利用時間や施設の環境整備などに合わせて施設を閉鎖するなど、柔軟に対応できる民間事業者へ業務委託を行っている。  
指定管理者制度のメリットとしては、管理運営経費の節減がある。民間事業者は経費節減に優れたノウハウを持っている可能性が高いので、活用を図ることは有効であると考えており、財政再建に取り組んでいく当町としては必要な取り組みと考えている。

**問**

指定管理者制度を導入することによって、県内外から多くの野球チームを涌谷スタジアムに誘導し、利用率の向上を図ることができると思うが、町の考えは。

**町長**

指定管理者制度導入のメリットとしては経費節減のほかに、民間事業者の質の高いサービスの提供がある。涌谷スタジアムをより多くの方に利用していただけのように、民間の手法を確認したい気持ちはある。柔軟な施設運営を行うことが可能となるよう、指定管理者制度の導入を検討し、取り組んでいきたい。

一般質問



涌谷スタジアムは地下排水溝による排水が良く、ナイター設備が整っているほか、駐車場も広いです



籠岳公民館は休日や使用時間など制約が多いという地域の声も…

一般質問

**問** 指定管理している各施設は、その効果を十分に発揮しているのか。

**町長** 指定管理者制度の効果としては、施設の運営費の削減、稼働率の向上、利用者へのサービス向上が期待できる。各指定管理者からは毎年事業報告書を提出していただき、必要に応じて随時打ち合わせを行うなど施設の管理状況、効果を把握している。

一部において、町と指定管理者との意識のずれが大きいと感じるところもある。

**問** 日本遺産に関わる取り組みがある中で、天平ろまん館は指定管理から外してはどうか。

**企画財政課長** 指定管理の契約期間がまだ3年間残っているため、現在の契約どおり運営を行っていく。

**問** 涌谷スタジアム、体育館、公民館など、指定管理されていない施設が数多くあるが、今後の見通しはどうか。

**町長** 指定管理者制度を有効に利用できるよう、設置目的を損なわずに施設を有効利用でき、経費の節減効果があるかなど、各施設について一つ一つ精査していく。

**問** 公民館に指定管理者制度を導入していることを何度も提案しているが、検討はしているのか。

**生涯学習課長** 籠岳公民館について、まず条例整備をしてから指定管理の検討を進めたい。

涌谷公民館、くがね創庫、史料館については指定管理に適さないと考えている。



稲葉 定 議員



**問** 指定管理者制度導入で効果的な運用を

**答** 各施設について一つ一つ精査していく

問

## 今後の国保病院の経営は



答

## 医師を確保し、経営改善を図りたい

伊藤雅一 議員



問

平成31年度国保病院予定貸借対照表での未処理欠損金額は14億4200万円で、自己資本額を上回っている。資本力の低下による経営への影響が心配されるが、町の対処方針は。

町長

町の方針としては、新涌谷町町民医療福祉センター国民健康保険病院改革プランを策定し取り組んでいる。財政非常事態宣言を受け、経営健全化検討委員会において取り組み目標を検討したほか、財政再建計画としても中期経営計画を策定し、経営改善に取り組むものである。中期経営計画では、医師をはじめとするスタッフの確保に努めるとともに、充実させることにより、入院・外来の収益が得られると思われるので、欠損金の解消など経営改善を図りたい。

問

毎年増加を続ける累積赤字額と病院事業に対する対応は。

町長

累積欠損金を解消することよりも、安定的な経営を行うための現金が常にあることが一番大事である。現金の収支がしっかりとなされるよう、町は支援していく。

総務管理課長

欠損金は借金ではない。

問

病院は財政再建計画で1億1489万円の収支改善を見込んでいるが、この金額の発生場所、発生方法などの根拠は。

町長

財政再建計画の効果額については、財政再建を行わなかった場合の繰出金を、令和元年度の予算をベースに算出し、財政再建に取り組んだ場合の繰出金との差額を、5年間で1億1489万円と見込んでいる。

一般質問



国保病院も町と同じように、さまざまな取り組みで経営改善を図っていきます

## 問 入札に町内業者の参加を

答 公正な入札のあり方、町内業者の振興の両面を研究する

問 一般競争入札の参加基準である評価点を見直し、町内業者を参加させるべきである。工事を分離発注する方法もあるの、できるだけで町内にお金を落とすことを考えては。

町長 入札制度は公正に行わなければならず、国県に準じた形



入札は公正に、でも町内業者の振興も必要

で規則などを定め執行している。町内業者を参加させるため参加資格である評価点を下げて一般競争入札を行うことは、制度上難しいものと考えている。公正な入札のあり方、町内業者の振興と2つの形があり、早急に研究を進める。

問 財政再建計画には収入の確保、所得の向上とあるが、方法・手段が示されてない。

当町は大崎管内でも所得が低い。現状を分析し、低い原因を明らかにし、対策を講ずるべきである。

町長 財政再建のためには各事業の現状把握、分析が大事であり、分析をもとに事業評価・行政評価を行い意見をぶつけ合うことが町の発展には必要である。分析に基づいてPDCAサイクルを活用し、事業の見直しをしていく。

問 当町は介護保険制度の創設や、在宅ケアシステムの構築などを他に先駆けて実施しており、要介護者の対象者数は県平均より低い。介護サービスを受ける人が少なければ、町の出費も少なくて済む。

現状を分析し涌谷の特性を明らかにして、何が大切で継続すべきことなのか、町民に示すべきである。

町長 今すぐしなければならないこと、しっかりと時間をかけて分析することの2つの考え方で進めていく。

## 問 現状を分析し、町民所得向上の対策を

答 PDCA を活用し、事業の見直しをしていく

※ PDCA…Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) を繰り返すことで、業務を継続的に改善していく手法。



久 勉 議員



問

## 補聴器購入の公費助成を



杉浦謙一 議員



答

## 助成のための財源を検討していく

**検査時間が短く、高性能な1.5テスラMRI装置を導入しました**

世界で最も静かな1.5テスラMRI装置です

この度当院では、東芝製1.5テスラMRI装置「Vantage Elan」を導入しました。従来の約半分の時間でも、撮影画像はより鮮明で細かいところまで撮る事が可能な新技術を搭載した、最新鋭の1.5テスラMRI装置です。MRIは、磁石と電波を使って体の様々な断面像を撮像するので、放射線による被曝はありません。また造影剤を使用せずに血管の画像を得ることもでき、短時間で全身の検査が可能となり、患者様の負担が少なくなりました。くわしい検査内容は、医師またはスタッフまでお気軽にお尋ねください。

東芝製超静かな高性能MRI装置

■ 脳動脈造影(MRA) ■ 脳静脈造影(MRV) ■ 脳神経腫瘍 ■ 脳神経腫瘍

浦谷町国民健康保険病院

MRI を町民の健康に活用して

問

高齢の難聴者には補聴器が必要。補聴器がないと会話することも困難となり、認知症やうつ病などを発症する傾向にあるが、補聴器の購入には両耳で40万円程度かかる。加齢性難聴者に対して、補聴器購入の公費助成への考えは。

町長

耳が聞こえないことで認知症が進む事例は担当課から聞いており、公費助成の可能性を追求したい。財源が行政の使命だと考えている。

問

脳血管疾患は、高齢者が介護を受ける原因となる疾患の第一位である。国保病院にはMRIがあるので、有効に活用すべきである。高齢者への脳ドック助成についての考えは。

町長

脳ドックは脳の病気を未然に防ぎ、健康増進や介護予防などの効果が期待できるが、国保などの補助がなく、町単独事業で実施する必要性や財源などに大きな懸念がある。実施している他町村を調査し、国保病院で受診できる体制を検討していく。

問

### 来年度からの水道料金は

答

### 料金の改定は考えていない

問

来年度は県から水を買った際の受水料金が見直しとなる。水道料金はどうなるのか。

町長

県からの受水料金は下がる見込みであるが、水道施設・設備の老朽化対策などの費用は増加が予想されるので、水道料金の改定は考えていない。

問

受水費が9%以上引き下がるのであれば、水道料金を下げるべきと思うがどうか。

町長

水道料金は安定した良質の水を供給



町の水道施設もいずれ更新が必要に

一般質問

## 問 子どもの集う公園の充実を

答 町民の考えを応援していく

問 待機児童対策は十分か。

町長 平成29年10月の待機児童数31名に対し、平成31年4月は1名となっている。

保育士、幼稚園教諭の確保、質の向上とともに、継続して待機児童解消に取り組んでいく。

問 子どもの集う公園の充実を。有志が手作り公園の設置を検討する動きがあるが。

町長 町民が主体となって、現有の施設を利用しながら子どもたちを中心に多くの人が集まる拠点をつくる構想があるが、応援していきたいと考えている。

問 医療費無料化の継続と、小児科の設置の考えは。

町長 医療費無料化については再検討が必要と考えている。医療費の増加が進んでいく場合は、ほかの医療制度と同様に一部負担をお願いする。

小児科については、町の病院をホームドクターとして使っていただければ、内科医で十分に対応できるものと考えている。

問 消防団員の増加策は。

町長 防火査察などの各事業の際に、チラシなどの配布により団員募集の呼びかけを行っている。

問 目に見える場所へのポスターの掲示や、団員の報酬のアップは考えられないか。

町長 町民の目につくように加入を働きかけていくが、消防団の大切さ、そこできかすことを知らせ、啓発していきたい。

問 出初式を七日までにできないか。

町長 平成21年以前は毎年5日に出初式を開催していたが、平成25年からは第3週目の日曜日に開催している。団員の意見を集約し現在の日程となっており、今後も団員の意見を尊重し消防団として検討されていくものと考えている。

報酬を高くすれば消防団員が増えるとは考えていない。仕事や会社との関係でなかなか参加できない部分もあると思うので、消防団の活動を目に見える形で紹介しながら、団員の確保に努めていく。



台風19号の大雨の際にも、出来川の越流を食い止めたのは消防団でした

問 出初式を7日までに開催しては

答 消防団員の意見を尊重していく



竹中弘光 議員



問

## 校舎や園舎を貸与する考えは



答

## 借り手側の負担が大きく、難しい

大友啓一 議員



問

町の方針では廃校小学校と園舎は売却としているが、いまだに何も進展がないまま、校舎の老朽化が進み、敷地も荒れ放題になっている。今後の売却の周知や管理の考えは。

町長

旧小里・旧篁岳小学校、旧小里・旧日向幼稚園の4つの施設については、売却を基本に進めている。旧小里幼稚園についてはホームページに掲載しており、旧日向幼稚園は倉庫として使用しているが、今後、売却に向け準備していく。旧小学校については、建物の資産価値の判断が難しいため、売却方法を検討している。

問

校舎と園舎について、貸与の考えはないか。

町長

電気料や水道使用のための料金も高額となり、借り手側の負担が大きくなること

## 一般質問

から、貸し出しについては難しいと考えている。

問

旧小里幼稚園について、貸与はできないかと地区の住民から話があった。町としてどのような対応が可能か。

町長

基本的には売却を考えていくことに変わりはないが、地域の皆様がどのようなのが一番の要素であり、相談があれば十分に考えさせていただく。

問

旧小里幼稚園の園庭を子ども広場として、地区の管理の下、提供できないか。

町長

今の時点で子ども広場とすることは決めかねるが、少なくとも相手が見つかるまではしっかりと管理し、遊び場として場所を提供することはできると考えている。



旧小里小学校 荒れている敷地にたたずむ二宮金治郎像 心なしかいつもよりうつむいているような…



組織のスリム化も必要だが、単なる数字合わせではなく、長期的な視点を持って

一般質問

**問** 財政再建計画で令和5年度までに職員数を9人減らすことが示されている。現状の業務は多忙で、複雑化しており、職員を減らすことによる影響が懸念されるが。

**町長**

第四次涌谷町定員適正化計画に

おける目標値の職員数と比較すると9人の減であるが、現在、令和元年度の職員数との比較では2人の減となる。

職員の業務は多忙化、複雑化傾向にあるが、再建計画にもあるとおり、単なる職員数の減ではなく業務事業量の見直しや組織機構の改善、民間委託などの推進による組織のスリム化や、課や班を越えた弾力的・機動的な相互応援体制の強化を図るなど、職員一丸となつて乗り越えていきたいと考えている。

**問**

各課の人事配置の見直しも必要では。

**町長**

人が人を使うこととは難しく、年々の行政運営はできない。財政再建だけではなく、各課の事業量をしっかりと分析し、分析に基づいて話し合つて、各課における職員の定数を決めていきたい。日常的に話し合える環境を整えていく。

**問**

財政再建 職員減による影響は

**答**

職員一丸となつて乗り越える



鈴木英雅 議員





問

# 財政非常事態宣言の解除の基準は



佐々木敏雄 議員



答

## 基金（貯金）を崩さない財政運営が目安

問

財政再建を考える会議は、財政再建計画には反映させないとのことであるが、会議の真意、目的は何か。会議は3回で終わりか。

町長

計画の策定をより充実させるためにさまざまなご意見をいただく趣旨で会議を行った。意見は既に計画に盛り込んだものもあり、町の再建に効果が見込めるものは計画の見直しの中で取り入れていく。計画策定のための会議であり、計画ができたので一区切りとした。

問

会議に町の幹部職員が出席しておらず、非常事態宣言に対する町当局の危機感がない。

町長

町民の声を聴く会であり、職員最後の会議には職員も出席させた。

問

第三者評価委員に財政再建を考える会議の委員が適任と思うが考えは。

財政再建対策室長

検討したい。

問

財政再建計画の執行状況の報告はどのようにするのか。

財政再建対策室長

広報やホームページで随時公表する。

問

財政非常事態宣言の解除は、何を基準に考えているのか。

町長

基金（貯金）を取り崩さずに財政運営できるようにすることが、解除の目安と考えている。

問

### 嘱託職員の管理職の考えは

答

### 法に沿うよう配慮する

問

来年度から嘱託職員は、会計年度任用職員が臨時的任用職員となる。嘱託職員への十分な説明など、遺漏のないよう進めるべきと思うが。

センター長

法律の内容を十分精査し、法に沿うよう配慮する。

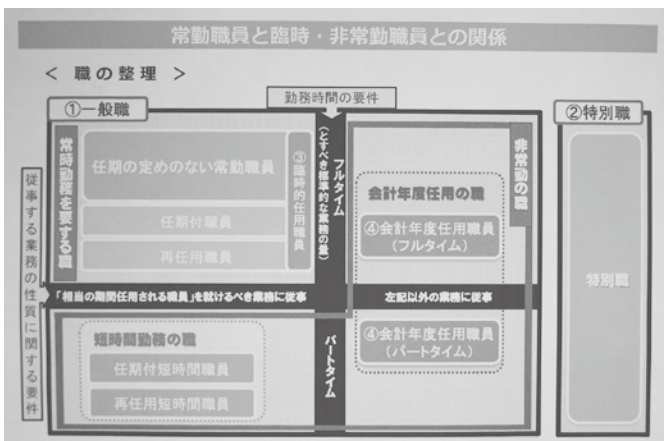
町長

臨時職員、嘱託職員などは会計年度任用職員に位置づけられ、処遇改善が図られる。

新制度への移行について準備を進めているが、町の対応が決まり次第あらためて説明を行う。

問

病院事業では、嘱託職員数人が管理職として任用されている



常勤職員と臨時・非常勤職員との関係

## 一般質問

# 案議 議審

副町長の選任について

賛成全員で同意

今年1月から空席となっていた副町長に、宮城県保健福祉部長寿社会政策課介護政策専門監の田代浩一氏を選任する人事案が提出され、議会は全会一致で同意しました。田代氏はあいさつの中で、「突然のことでもあり、あらためて職責の重さを痛感している。現在、県内の自治体は少子高齢化、人口減少社会の対応、産業振興による安定した雇用機会の確保など、多くの課題を抱えているが、涌谷町においてもさまざまな行政課題がある。遠藤町長のもと、涌谷町の発展のため、町の課題解決に全力で取り組んでいきたい」と述べました。

10月1日付けで副町長に就任した田代浩一氏



## 人事案件

賛成全員で同意

教育委員会教育長

佐々木 一彦氏(再任)

教育委員会委員

戸田 康子氏(再任)

佐々木 宏氏(新任)

監査委員

遠藤 要之助氏(再任)

固定資産評価審査委員会委員

大友 克裕氏(新任)

## 令和元年度 一般会計

# 正算 補予

歳入歳出それぞれ  
1億5664万円を増額

### 増額の主な内容

わくや新生活応援補助金  
136万円

移住定住推進に係る補助金を増額。

強い農業・担い手づくり  
総合支援交付金  
640万円

基幹産業である農業の収益力強化と、担い手の経営発展を推進。

幼児教育・保育無償化事業費  
合計554万円

制度対応のため、幼児教育・保育無償化に係る経費を増額。

### 減額の主な内容

涌谷町観光物産協会  
補助金  
312万円

夏祭りの中止により補助金を減額。

### 主な質疑

#### 新生活応援補助金 転入者への支援も

**問** 結婚して他町村から転入してきた人に対して、お祝い金などを出せないか。町の良いPRにもなると考えるが。

**答** 補助対象経費は国の補助の基準に従い、引越しの費用などである。町独自の施策として所得制限を撤廃している。

#### 農業施策は 町とJAの協力で

**問** 財政再建計画の中に、営農センターの役場職員を役場庁舎に戻すことも含まれている。JAと一緒に農業振興に取り組んでいってほしいが。

**答** 財政再建はしっかりと進めるが、JAとの信頼関係を損なうことのないよう、十分に話し合いを重ねていく。

#### 小学校や幼稚園の跡地 人の集う活用を

**問** 無償で貸して使ってもらうことで人が集まり、結果としてお金も動くことにつながるかと考えるが。

**答** 財政再建計画にのっとり、今後の活用を考えていく。民間へ売却し、民間で事業を進めてもらうのも一つの方法と考えている。

#### 夏祭りのあり方 再考を

**問** 夏祭りは、ご先祖様の供養、夏の風物詩、子どもたちのイベントとして大切なものと考えているが。

**答** 有志の皆さんが行った今年の夏祭りは非常に好評で、関係者の方々に大変感謝している。財政再建の中ではあるが、このような状況であれば、なおさら人の集まるお祭りには必要と実感した。

# 先進地に学ぶ 視察研修レポート

総務産業建設常任委員会

青森県田子町

にんにくは町民の誇り「日本一のにんにく産地」

教育厚生常任委員会

富山県高岡市

住民が文化の担い手

ものづくりの伝統に支えられた歴史文化都市



内部の害虫を駆除するにんにく専用の高温処理施設



視察地  
青森県三戸郡田子町

総務産業建設常任委員会

7/23

7/24

目的

「にんにくによるまちづくりと六次産業化」について視察し、町の産業振興に資する。

まとめ

にんにく文化を醸成し、生産者・地域・JA・商工会・町などの関係機関が一体となつて、にんにくのまちづくりに取り組んでいる姿が大変印象的だった。

当町としても、地元農産物などを生かし、食による観光・まちづくりに取り組むことが重要であり、農産物をどのように流通市場へ販売していくのか、どのように宣伝・PRを図っていくべきかなど、アイデアを全職員から募集し、進めていくのも一つの方法と考える。農業の将来や六次産業化について、関係機関が一体となり、共に取り組んでいくことが必要だと感じた。



加賀2代藩主前田利長公の菩提寺 国宝・瑞龍寺



視察地  
富山県高岡市

教育厚生常任委員会

7/17

7/18

目的

「日本遺産に関する取り組み」について視察し、当町の関係人口・交流人口の増大策を考える参考とする。

まとめ

高岡市では、歴史・文化を伝えていく柱は観光と教育であると考え、二つの部門をつなぐ役割を担うことを目的に、市長政策部文化創造課を平成29年度に設置している。当町には、長根貝塚遺跡、黄金山産金遺跡の二つの国指定の文化財があり、笠岳山の笠峯寺の行事や、伊達安芸宗重公の見龍院霊屋、追戸横穴群、妙見宮など、県指定や町指定の文化財がたくさんある。

これらの財産を生かすためには、高岡市のような内部組織の編成により、互いに連携を取り、町民にも参加してもらおうような企画が必要である。

研修報告

台風19号により被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。一日も早く日常の生活を取り戻されることをお祈りいたします。

涌谷町議会一同

**想定を超えた豪雨**

台風19号の猛烈な雨によって、町内でも甚大な被害が発生しました。

21日現在の被害状況として、床上浸水103棟、床下浸水137棟、土砂崩れによる住家被害4棟、土砂災害76カ所、冠水町内一円、道路・水路被害60カ所となっています。冠水・のり面崩れ・道路損傷により通行止めが多数発生したほか、町内の教育施設・福祉施設も大きな被害を受けました。

**議会災害対策本部を設置**

12日午前9時に町が災害対策本部を設置したことから、議会としても、議会災害対策本部を設置し、情報収集や被害状況の把握に努めました。

**10月  
会議**

台風19号被害への対応のため、10月23日に10月会議を開催し、歳入歳出それぞれ2億400万円を増額する補正予算を審議し、可決しました。

**増額の主な内容（歳出）**

**民生費（災害救助費）**

避難所をはじめ災害時の緊急的な対応に要する経費や、災害廃棄物の処分などに要する経費。  
3960万円

**災害復旧費**

**（道路橋りょう災害復旧費）**

応急的な土砂の撤去や、道路橋りょうの復旧に要する経費など。  
1億3427万円

**災害復旧費**

**（公立学校施設災害復旧費）**

箕岳白山小学校、のりだけ幼稚園の災害復旧工事など。  
206万円



新下町浦の災害ごみ仮置き場は開設から5日ですばいになりました

**7月会議**

門田善則議員が辞職したことに伴い、7月31日に7月会議を開催し、総務産業建設常任委員会委員長などの選任を行いました。

**総務産業建設常任委員会**

委員長 後藤 洋一

**議会運営委員会**

委員 稲葉 定

**大崎地域広域行政事務組合議会議員**

久 勉

**8月会議**

8月29日に8月会議を開催し、小中学校空調設備設置工事の工事請負契約の締結について、原案のとおり可決しました。

**契約業者**

富士古河E&C株式会社  
北日本支店

**契約金額**

1億4630万円（税込み）

**10月  
会議**



成澤宏樹さん(中) (上町区)  
樹希くん(左) 美帆さん(右・ご本人)

議会への力強いエールをいただきありがとうございます。美帆さんは町内から町内に嫁ぎました。いつも他人に対して思いやりのある、子育て真っ最中のきらきらしている素敵なお方です。  
先月の台風19号による大雨被害は、町内に甚大な被害をもたらしました。まずは復旧を急ぎ、町民の皆さんが一日でも早く日常の生活を取り戻すことができるよう、取り組んでまいります。

### 議会から

**Q** 涌谷町の歴史、素晴らしい自然、食物の豊かさ、産業に誇りを持ってずっとこの町で暮らしたい、この環境で子どもを育てたいと思ってもらえるような町にしたいです。  
誰もが住みやすく、安心して子育てができると感じられれば、人口も増え、今まで以上に活気あふれる涌谷町に生まれ変わると思っています。

議会に皆さんのご意見をお寄せください。

# キラキラ Voice

vol.10

**Q** あなたのことを教えてください。

**A** 涌谷に生まれ涌谷で育った生粋の涌谷っ子です。町内で仕事をしながら、4歳になる子どもの子育てに毎日奮闘中です。

**Q** 議会についてどう思いますか。

**A** 結婚、出産を経験してやはり気になるのは今後の涌谷町を担う子どもたちの未来です。議会だよりを通して、私たちも町の財政や現状を知ることのできることで、やらなければならぬことを認識できると思います。たくさん課題があると思いますが、解決できることから一つ一つクリアしていただきたいと思います。

**Q** 涌谷町をどういった町にしたいですか。

**A** 涌谷町の歴史、素晴らしい自然、食物の豊かさ、産業に誇りを持ってずっとこの町で暮らしたい、この環境で子どもを育てたいと思ってもらえるような町にしたいです。

## 議会を傍聴

### しませんか

次回の定例会は

## 12月上旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日配布の「定例会のご案内」でお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎43-2127



## 一般質問を 動画配信しています。

当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、涌谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。



## 編集ろまん だより

今回の台風19号は土砂崩れ、冠水による床上・床下浸水、道路被害などあまりにも大きな爪痕を残しました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。  
自然の猛威には私たちの力などとても及ばないことをあらためて思い知らされました。

先月23日には災害対応の本会議も開催し、復旧に向け動き出しました。本号を発行し、現チームでの議会だよりの編集作業は最後となりました。4年間ありがとうございました。(稲葉)

- 編集 広報広聴常任委員会広報分科会  
分科会長 只野 順  
副分科会長 竹中 弘光  
委員 鈴木 英雅  
委員 稲葉 定  
委員 佐々木 みさ子  
委員 佐々木 敏雄